



# 林 声



OKAYAMA

お か や ま

No.334 . 1997 . 7 . 1



毛 無 山 (真庭郡新庄村)

## 目 次

事業の紹介 .....	2	“樹” .....	6
普及最新情報 .....	3	林研だより .....	7
シリーズ森林公園 .....	4	お知らせ .....	8 ~ 9
普及指導最前線 .....	5	林産物市況等 .....	10

“ おかやまの 未来をひらく 農林漁業 ”

岡山県 農林漁業活力向上運動

# 事業の紹介

## はつらつ林業女性活動促進事業

### 一 事業実施の背景

近年、各産業分野における女性の進出には目覚ましいものがあり、林業においても幅広い分野で女性の参画を促進していくことが必要となっている。

かつては、林業は男性の仕事とされ、女性は家を守るのが当然とされており、労働形態などの違いはあるにしても、農業に比べると自家林業に従事する女性是非常に少なかった。また、現在においても、林業経営への女性の参画は少ないのが現状である。

このため、このようなかにあつて、これまで林家を支えてきた女性の役割を再評価し、女性の地位の向上と林業活動等への参画を促進し山村・林業の活性化を図るため、女性の視点を活かした複合経営の推進等の地域活動・生産活動を積極的に支援していくこととなった。

### 二 事業内容

女性にとつて、住みやすい魅力ある山村・林業を創造するため、林業女性グループによる次の活動を支援する。

#### ア 実践講座の開催

幅広い分野の講師を招き、女性の社会活動への参画や複合経営産物（特作物）の開発に関する知識の習得・技術の向上のための実践講座の開催

#### イ 先進地の調査

地域活動や生産活動（複合生産物の技術開発・生産）に積極的に取り組んでいる先進地への視察研修

#### ウ 調査研究活動

複合経営農産物の栽培技術や市況調査等を通じて、地域特産物の開発に関する調査・研究活動の実施

#### エ 地域交流会等の開催

林業女性グループが中心

### 三 事業計画

本事業で取り組んだ研究成果の地域イベント等への出展展示及び販売のためPR活動等の実施

現在、本県においては、一一

となり、地域・県レベルでの異業種等女性グループとの交流活動の実施

展示会出品活動等への支援

団体の女性林業グループが設立されており、会員数は一四〇名となっている。（表一）

本事業の実施期間は、本年度から平成一一年度までの三年間となっており、本県においては流域単位に取り組むこととしている。

本年度は、高梁川流域を対象に実施することとしている。（林業専門技術員 渡邊直人）

## 女性の林業グループ一覧

振興局	グループ名	市町村名	設立年月日	会員数	代表者
高梁	上房婦人林研グループ	北房町・有漢町	H 7. 3. 6	10	岩藤 二葉
	天神婦人林研グループ	成羽町・備中町	H 7. 4. 1	7	大福美代子
阿新	アメダス婦人林研グループ	新見市	H 3. 4. 1	9	角瀬 武美
	大佐町婦人林研やまびこ会	大佐町	H 4. 1.22	30	金田 敬子
	神郷町婦人林研グループ	神郷町	S 56. 8.18	19	山口紀久子
真庭	富原婦人林研クラブ	勝山町	S 56. 6. 1	15	池田久美恵
	蔬菜会林業研究部会	八束村	H 3. 3.27	14	原 章児
津山	あすなる林業研究会	奥津町	S 55. 1.29	6	赤坂 恒子
	やまびこ会	旭町	H 3.11. 1	10	向井みえ子
勝英	グリーンクラブ	奈義町	H 3.11. 6	6	岸本 栄恵
	やまゆり会	西粟倉村	S 59. 6. 1	14	檀原利津子
計 11団体				140	

# 高性能林業機械を使用した列状間伐

## 実地調査の結果から

昨今の木材価格の低迷等により、間伐の遅れが生じている。このため従来の定性間伐より手間と経費が軽減されるとされている列状間伐について、林業試験場では高性能林業機械を使用して実施したのでその概要についてご紹介します。

### 調査結果の概要

場所：苫田郡加茂町宇野地町有林		
面積：定性間伐区 1か所 0.1ha 列状間伐区 1か所 0.1ha		
樹種：ヒノキ 樹齢：40年生		
	定性間伐区	列状間伐区
平均胸高直径	21.36cm	19.21cm
平均樹高	15.94m	14.40m
生立本数	98本 / 0.1ha 12本伐採	12本 / 0.1ha 26本伐採

### 作業時間の調査 (sec)

列状間伐区0.1ha  
4ラインを伐倒集材する。

区分	列状区(A)	定性区(B)	比率B/A%	伐倒本数39本(内区域内26本)		
1m <sup>2</sup> 当たり伐倒時間	2,334	2,329	100%	伐倒時間	5,935	3人 17,805
1m <sup>2</sup> 当たり集材時間	5,791	6,315	109%	集材時間	14,728	3人 44,184
1m <sup>2</sup> 当たり造材時間	904	2,776	307%	造材時間	6,894	1人 6,894
1m <sup>2</sup> 当たり運搬時間	786	971	124%	運搬時間	5,999	1人 5,999
1m <sup>2</sup> 当たり生産時間	9,814	12,391	126%			総時間 74,882

間伐後の生立本数は、両調査区とも八六本/〇・一ヘクタールとなるよう間伐を実施した。列状間伐区については、三残一伐方式とし、四ラインを設定した。また高性能林業機械を用いた作業工程とし、作業時間を調査した。

### 相対照度の測定値

区分	間伐前	間伐後
定性間伐区	10.4%	13.8%
列状間伐区	11.4%	27.4%

林外に対する林内の照度の割合

定性間伐区0.1ha

伐倒本数12本			
伐倒時間	1,964	3人	5,892
集材時間	7,988	2人	15,976
造材時間	7,023	1人 (延4人)	7,023
運搬時間	2,457	1人	2,457
			総時間 31,348

この結果一立方メートル当たりの生産時間は列状区を一〇〇とした場合定性間伐区は一二六%と三割ほど多く時間を要した。

・造材については列状区の効率が良い差が一番大きかった。  
・相対照度は両調査区とも林内林内の間伐前と間伐後の相対照度を測定した。

この結果列状間伐区で間伐前二・四%、間伐後一七・四%、定性間伐区で間伐前一〇・四%、間伐後一三・八%であった。  
**今後の課題**

今回の調査地は比較的高林齢で保育間伐も数回実施された、比較的手入れの行き届いた林分であった。今後は手入れの遅れた若林齢の林分(二〇年生、三〇年生の二カ所)について調査する予定であり、引き続き搬出経費等コストの調査を行なうとともに林分の変化についても調査し、その適正な施業方法を検討し省力的間伐法の確立を図りたいと考えています。

(林業専門技術員 山岡嘉助)

## シリーズ森林公園 2

## 『毛無山』県内最大のブナの森

真庭郡新庄村の県境に位置する毛無山は、県内最大のブナ林が広がり、貴重な動植物が数多く生息し、学術的にも貴重な自然環境が残っています。

毛無山の標高は、一、二一八メートルで、麓から山頂までの高低差は約五〇〇メートルあり、県内で五番目の高さです。

頂上付近は背の低いササが広がり、三六〇度の展望ができません。北は大山や日本海、南は吉備高原の山並みが一望できます。

日本海型気候と太平洋型気候の特徴を合わせ持った毛無山は雪の多い地方に生息する植物と岡山県中部以南や太平洋側の暖かい地方にも生息する植物が混じって生息しており、植物分布上からも重要な地域です。

四月下旬、雪解けとともに地上はカタクリやイワカガミなどにより彩られ、ブナの新緑が出

揃う頃になると、一層華やかさを増してきます。さらに深緑、紅葉、雪景色などと四季を通じて楽しめます。

谷川には年間を通して清らかな水が流れ、平成七年には林野庁が選定する水源かん養機能の高い「水源の森百選」に選ばれています。

また、国内における植物群落のうちで学術上重要なもの・保護を必要とするものとして、環境庁から特定植物群落に指定されています。

平成五、七年度に自然保護を目的として、頂上を含む約一九四ヘクタールが県有地となり、手頃な登山も楽しめるため、多くの人が訪れるようになりました。

一方、山を保護す



るため必要最小限度の登山道の補修及び利用者のための指導標・樹木名札方位盤等が設置されました。これらの一部はボランティアにより、実施されました。

毛無山登山道の入口付近には「毛無山の家」があり、自炊式の宿泊（定員約一五名）及び昼間の利用もできます。

詳しくは、新庄村役場観光係（〇八六七）五六 二六二六までお問い合わせ下さい。

最後に、毛無山はかけがえのない貴重な動植物の宝庫として保護されています。みんなで自然を守っていくという気持ちをもつて、いつまでも忘れずに訪れていたきたいと願っています。

（真庭普及指導区 Ag 福見照芳）

# 普及指導最前線

## 財産区有林の活用

### 一、はじめに

財団法人北部会は、昭和四七年四月六日に法人として設立され、現在会員は約一六〇人います。当部会の保育資産のほとんどが、預貯金と山林です。また、設立当初から資産は増加し、平成八年度末には、設立当初の二・五倍にまで増加しています。資産の増加の主体は、マツタケによる収入です。しかし、その収入も、近年の異常気象と、松枯れにより、減少し最盛期の一割以下となり、マツタケ収入への依存から脱却し、優良林経営への移行を模索しています。そこで、当部会の活動の一部を紹介します。

### 二、意識改革

賀陽町は、高梁普及指導区内でもけっして林業地とはいえず、人工林率も一割程度です。理由としては、当地域は、マツタケの産地であることから、マ

ツ山の管理には積極的に労力を注いでいますが、ヒノキ等の人工林には、それほど手を掛けていません。

(財)北部会においても同様で、所有山林は約八二ヘクタですが、そのほとんどがマツ山です。そこで、優良材生産も経営目標として取り入れ、会員の技術の習得と意識改革のため、Agの指導のもと、間伐枝打講習を最近では、年一、二回程度実施してま

(表 - 1) (財)北部会の森林資源

単位：ha

年齢	級				～	計		
マ	ツ	林			0.20	77.90	78.10	
ヒ	ノ	キ	林	1.30	0.15		0.50	1.95
そ	の	他	林				1.95	1.95
	計			1.30	0.15	0.20	80.35	82.00

(表 - 2) 山林施業実績

単位：ha

区分	平成 5 年	平成 6 年	平成 7 年	平成 8 年
松茸発生環境整備	0	0.50	3.00	3.00
ヒノキ造林	0.30	0.20	0.50	0.30
ヒノキ保育	0	0.30	0.50	1.00

### 三、山林管理

(財)北部会では、会員が、年間延べ二〇〇日程度の出役計画をたて、当部会の管理運営に当たっています。限られた出役で山林を管理するためには、効率的な出役計画が必要となり、Agの指導のもと施業管理台帳の作成を検討しています。

### 四、おわりに

マツタケ収入に依存している現状から、後世に残せる優良林を造成するためには、会員の意識改革と、保育技術の習得が必要であると、大月部会長をはじめ役員は考え始めていますが、(財)北部会のもう一つの目的は、地域への技術の波及効果です。当地域が林業地として、県下の名を馳せるのもそう遠くないことと期待しています。  
(高梁普及指導区 Ag 藤井芳典)

わが国では、生活の中で年間三億トンの炭素を大気中に放出しています。この内の約五〇〇〇トンを森林が固定していると言われていますが、量的には全然追いつきません。したがって、炭素を生み出す消費エネルギーをいかにして少なくするかという努力が必要になります。

図一は、住宅を建築する際に放出される炭素量を建築様式ごとに示したものです。木造が、RC造などと比較して、圧倒的に炭素放出量が少ないことが明白です。しかも、木造の炭素放出量の内、木材自体が占めるのは一割以下に過ぎず、アルミサッシやガラスなど他の部材が大半を占めています。したがって、アルミサッシを木製サッシに代えるなどの努力をすれば、さらに炭素放出量は減少することになります。

木造住宅もやがては解体され焼却されることとなりますが、

## 樹

環境保全と木材(二)

建築様式と消費エネルギー

木材加工技術センター

河崎 弥生

研究者

耐用年数を延ばすことや廃材の再利用などによって、結果的に炭素放出量を減少させることができます。

地球環境は、基本的には再生がきかない極めてデリケートなものです。私たちは、このかけがえのない環境を守るために「Thinking globally, acting locally」という姿勢で、可能なことから実践に移す必要があります。

ます。木質材料、特に製材品の利用はこの第一歩であると考えられます。

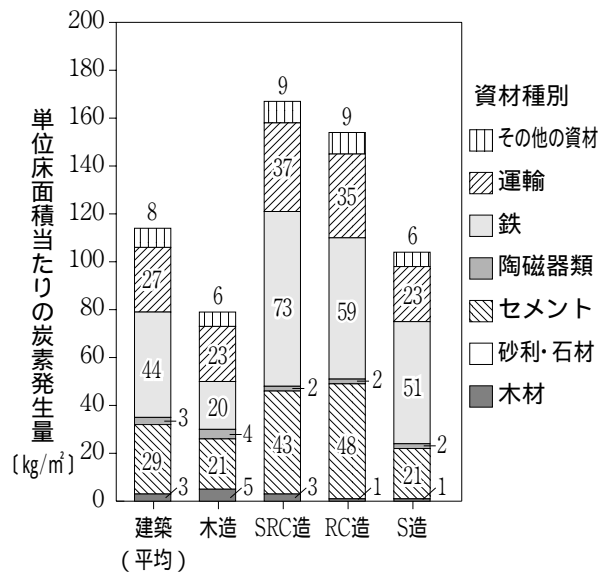
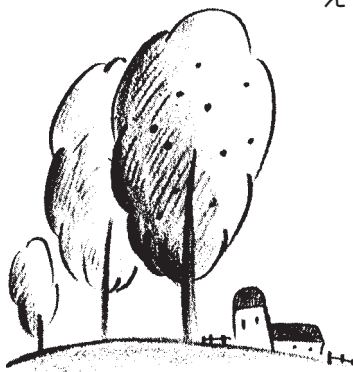


図1 床面積1㎡あたりの炭素放出量  
(資料 日本建築学会「建築が地球環境に与える影響」:1992)

## 林 研 だ よ り

## 奈 義 町 豊 並 樹 苗 生 産 組 合 青 年 部

会 長 長 畑 州 三



さし木の様子

岡山県の北部、鳥取県との県境にそびえる秀峰「那岐山」の山麓に広がる勝田郡奈義町日本原の一角に豊並樹苗生産組合は昭和二十四年に創設されました。この一帯は通称「黒ボク」と呼ばれる強酸性の火山灰の土壌で、比較的傾斜の緩やかな地形がつづき、昔から小規模の苗木づくりが行われていた地域でした。その後、拡大造林の進展に伴い苗木の生産も徐々に拡大し、共同生産による大規模生産

団地をめざして苗木生産者十名によつて当組合が結成され現在に至っています。

昭和五十一年には当組合の後継者、八名の参加により「豊並樹苗生産組合青年部」が苗木生産技術の普及向上を目指して結成されました。

当青年部は設立当初には緑化樹の生産技術の向上を中心に技術の研鑽に努め環境保全事業団等からの要望でタイワンフウの生産を行っていました。

その後造林用苗木の生産にも取り組みスギの精英樹の採穂事業を積極的に推進し挿し木技術の向上に努めました。

昭和六十三年からは新たな試みとして、今後の需要が見込まれそうな広葉樹としてヤマザクラの育苗、また平成二年には緑化樹としての要望の高いイチヨウの育苗に携わり、体系的な育苗技術の確立に努めました。

平成三年度からは「多樹種苗

生産供給センター」事業を行い広葉樹苗木の生産についての基礎的な育苗技術について取り組みました。

会員は忙しい苗木生産の合間に、発芽処理の方法や発根促進率をいかに高めて効率的に苗木を生産するかといった問題について情報交換を行い、互いに切磋琢磨して新たな技術の開発に挑戦しています。

また近年の造林の落ち込みに対処するため造林用苗木の生産のみならず、緑化樹の分野にも進出し、市場の需要調査なども行いながら将来に向けた新たな取り組みを行っています。

最近では「美しい森ドングリポット苗木づくり運動」にも参画いただき、今まで培った技術を有効に利用してポランテアで年間四千本程度のポット苗木を育てています。

現在実施中の新たな取り組みとしては、ポットの用土に堆肥を用いてこれにドングリを播種し、この苗木が生長できるかどうかといった試験も行っています。秋に播種したドングリが今ではかなり芽が出て、本葉が四枚程度展開したのも見受けら

れました。会長の長畑さんによると、このまま肥料あたりもなく成長を続ければ、地元の堆肥センターで作った堆肥を有効に利用できるばかりでなく、ポット苗木づくりで最も経費がかかる、用土の問題が解決できるとともに、無肥料で高成長することので、関係者は大きな期待を抱いています。

今後とも苗木生産に関する新たな技術の展開と技能の向上について当林研の活躍が期待されます。

(勝英普及指導区 Ag 大賀哲哉)

# お知らせ

## 「おかやま もりの妖精」募集

当協会では、美しい森づくり運動を推進し、森林・林業のイメージアップを図るため、キャンペーンガールを次のとおり募集しています。

**募集人数** 三人

**応募資格**  
健康で明るい十八歳以上の未婚女性で各種イベントに参加可能な方

**応募方法**

履歴書(市販のものでよい)、最近六か月以内に撮影した全身写真、作文(応募の動機について二百字程度)を岡山県林業改良普及協会支部各地方振興局森林課内へ提出

**応募期限** 八月十五日(金)

**書類選考** 八月下旬

**面接選考** 九月上旬

**特典**

賞金十数万円のほか、制服等を支給

**お問い合わせ先**

県庁林政課内岡山県林業改良普及協会「おかやまもりの妖精募集係」

☎(〇八六)二二四 二二一一  
内線三三〇四まで

## 木材加工技術研修会の開催

木材加工技術センターでは、毎年、林業・木材関連業界の方々を対象にした研修会を開催しています。今回は、外材やエングニアリングウッド等との厳しい競合時代を迎え、この状況下を生き抜くためには国産材の安定供給をいかに果たすかといのかと言う点について議論する機会を設定いたしました。特に、林業関係の方々の参加をお待ちしております。

**一、日時**

平成九年七月一九日(土)

一三時～一六時

**二、場所**

津山市森林組合大会議室

**三、テーマ**

原木の安定供給体制は可能か？

**四、講師**

島根大学教授 北尾邦伸氏

**五、申込先**

木材加工技術センター  
〇八六七(四四)三三六七

## 県立森林公園

### 自然観察会の開催

岡山県林業公社では、七月二十五日(金)、県立森林公園(奥津町、上斎原村)で自然観察会を開催します。

県立森林公園は、県北の豊かな自然がそのまま保護されており、大自然の中で思う存分森林浴を体験することができます。当日は、自然に詳しい先生方が講師として参加されており、自然への知識を深め、心身のリフレッシュを図る絶好の機会です。森林公園に行つて見たい人には、是非ともこの機会に参加されることをおすすめします。

**募集人員**は二五〇名で、往復八ガキで申し込んでください。参加料は無料ですが、交通費は各自負担、食事は持参してください。  
**申込先** 岡山県林業公社  
津山市山下五三  
☎〇八六八(三三)三一一

## 「勝山美しい森」オープン!

美しい森づくり運動を進める拠点として平成五年度から整備を進めてきた「勝山美しい森」が完成し、四月二十六日完成記念式典を開催しました。

県下三番目のオープンとなる「勝山美しい森」は、勝山町一の高さを誇る秀峰「星山」の麓に位置し、地域の特性を生かし水源の森、木地師の森、花の森などを整備しています。

施設はビジターセンター、パンガロー、キャンプ場、野外音楽堂などがあり、ビジターセンターの展望デッキからは素晴らしい景色が満喫できます。

利用の申込・お問い合わせの窓口は勝山町役場農林振興課(〇八六七 四四二六一一)となっております。

(真庭普及指導区)

Ag(菅原光男)





## 水質保全対策の 取組みについて

小田郡矢掛町東三成地区では、生活用水等の水源を、河川からの取水と地下水に依存していますが、近年、松くい虫被害等による森林の荒廃により、豪雨時には濁水が発生し、早急な対策が求められました。

このため、平成四年度から水質保全特別対策治山事業等により、濁水の原因となる荒廃森林の整備や貯水・浄化機能を有する工作物を設置し、水辺には、小学校卒業記念によるドングリ苗木等を植栽して、良質な生活用水の確保に努めています。

事業効果については、平成四年度から毎年、水質調査を実施し、濁水流入時における浮遊物質の除去効果や浸透促進効果が顕著で、流域全体に水質改善の傾向が認められております。

(井笠普及  
指導区  
Ag野口朋弘)



## パンフレット 「森林と私たち」

倉敷普及指導区では、子供の頃から森林・林業の大切さを理解してもらおうと小学生を対象とした森林教室を開催しています。教材には指導写真パネルや手作りのイラストを用いるなど工夫していましたが、このたび授業の効率と教材のマニユアル化を図るため森林・林業パンフレット(写真)を作成しました。

写真を多用して「森林のはたらき、変遷、現況」から「森づくり」まで広範にわかりやすく紹介しています。

森林教室や植樹のついでで使用するほか、振興局県民室に置いて、地域住民の方に差し上げています。

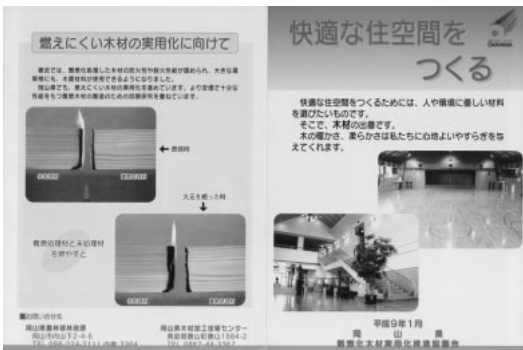
(カラー十六P、三万部作製)  
(倉敷普及指導区Ag広井睦生)



## リーフレット「快適な住空間 をつくる」の作成について

「難燃化木材実用化推進協議会」については、平成八年十一月号で紹介しましたが、協議会活動の一環として、一般に木材の欠点と言われている、「燃えやすい・熱に弱い」などについて科学的なデータで木材の優れた特性を解説するとともに、燃えにくい木材を製る試験研究の一端を紹介したものです。

なお、このリーフレットは、木質材料に対する正しい理解を得るため、県内の消防局や建築士事務所等に配布しました。



# 林産物市況

## 製材 (6月中旬)

杉正角 3m			桧正角 3m			桧長柱 6m		
寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)
6.0	一等	32 - 37	6.0	一等	40 - 45	10.5	特等	110 - 115
7.5	一等	20 - 22	7.5	一等	33 - 35	12.0	特等	120 - 125
9.0	上一	20 - 22	9.0	上一	22 - 23	"	上小	150 - 160
"	一等	24 - 26	"	一等	28 - 30	13.5	特等	110 - 115
10.5	一等	40 - 45	10.5	一等	70 - 80	"	上小	120 - 130
"	特等	45 - 55	"	特等	85 - 95	ラ ス 板		
"	上小	60 - 70	"	上小	140 - 160	2 <sup>m</sup> 1.2×9.0		28 - 30
"	無節	80 - 100	"	無節	200 - 230	3 <sup>m</sup> 1.2×9.0		30 - 32
12.0	特等	40 - 45	12.0	特等	85 - 95	2 <sup>m</sup> 1.5×10.5		22 - 25
"	上小	60 - 65	"	上小	140 - 150	2 <sup>m</sup> 0.9×24.0		65 - 70
"	無節	70 - 80	"	無節	200 - 230	2 <sup>m</sup> 1.5×21.0		38 - 42
長サ 4m			長サ 4m			造 作 材		
6.0	一等	38 - 45	6.0	一等	55 - 65	杉4 <sup>m</sup> 3.0×3.0	無節	(本)6 - 8
9.0	上一	20 - 23	9.0	上一	23 - 25	杉4 <sup>m</sup> 4.0×4.5	無節	(本)12 - 20
"	一等	30 - 35	"	一等	45 - 50	杉4 <sup>m</sup> 4.5×10.5	無節	230 - 280
10.5	特等	45 - 50	10.5	特等	90 - 95	桧4 <sup>m</sup> 4.5×10.5	上小	250 - 280
12.0	特等	40 - 45	12.0	特等	80 - 85	桧4 <sup>m</sup> 4.5×10.5	無節	280 - 330

## 木 材 (6月上旬)

長さ	径 (cm)	杉 (千円)	桧 (千円)	松 (千円)
3m	7 - 10	10	10	-
	11 - 13	18	30	-
	14 - 16	23	42	-
	18上	19	43	10
4m	7 - 10	13	23	-
	11 - 13	13	-	-
	14 - 16	23	42	-
	18上	17	35	13
6m	14 - 16	25	62	-
	18 - 20	25	55	-

## 乾しいたけ (5月中旬)

名柄別	価格 kg当り (百円)	
	安 値	高 値
香 信 大 葉	34	86
" 中 葉	34	84
" 小 葉	19	56
バ レ 大 葉	20	69
" 中 葉	20	60
ス ラ イ ス	16	44
香 茹	47	89
上 冬 茹	48	89
並 "	45	87
並 並 "	26	75
小 玉 "	18	49
格 外 品	8	50

### 編集後記

今年も、早や七月となりました。先日、新聞等で「エルニニヨ現象」が観測されたと報道されました。今年の夏はどうなるのでしょうか。

お知らせコーナーでも取り上げましたが、今年も、もりの妖精を募集します。一人でも多くの方に応募していただき、森林・林業のPRに少しでも役立ちたいと思います。

次回発行は九月の予定です。

(A)